

S S T K

社会福祉法人  
埼玉のぞみの園

# 法人だより No.23

領価 50円

編集人 埼玉のぞみの園法人本部 埼玉県深谷市本田3343 編集責任者 理事長 山崎勝  
 発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 埼玉県川口市芝新町15-9アステール藤野1階

## 2018年 架けよう 力をあわせ 未来へ続く橋



埼玉のぞみの園

### 法人ご寄付 ご協力者様

順不同・敬称略にて御容赦願います。  
 平成29年12月～平成30年2月  
 ※平成30年3月1日現在

清水 弘  
 新門 峯子

福祉の向上のために使用させていただきます。  
 いただきます。

### 深谷市UACJ様

助成金名：平成29年度深谷市UACJ 障害福祉助成事業  
 施設名：深谷たんぼぼ  
 物品名：リクライニング車椅子  
 電動ワイドベッド  
 補助金額：二〇八、〇〇〇円  
 (総事業費：四一七、六〇〇円)  
 決定年月日：平成29年11月7日

ご利用者の安全な移動や姿勢保持  
 身体的負担の軽減ができました。  
 心より御礼申し上げます。  
 どうもありがとうございました。

### 新施設資金運動 ご協力者様

順不同・敬称略にて御容赦願います。  
 平成29年12月～平成30年2月  
 ※平成30年3月1日現在

大沢美知子 菅野まさ子  
 柴田浩子 海野富男  
 関根利勝 伊藤ハツ子  
 埼玉のぞみの園後援会  
 春日園グループ家族会

新施設建設のため  
 大切に使用します。

現在の寄付額  
 一四、九二四、〇〇〇円

財務研修 H29年度4回開催  
 施設長及び幹部職員を対象に、  
 財務研修を本年度4回にわたり  
 行いました。次世代を担う幹部職  
 員には現場だけでなく、財務諸表  
 も今後読めるように…との理事長  
 の考えによるものです。職員のス  
 テージにあわせ、  
 常に学ぶ姿勢がより  
 良い支援へつながる  
 と信じます。

### 後援会 ご協力者様

順不同・敬称略にて御容赦願います。  
 平成29年12月～平成30年2月  
 ※平成30年3月1日現在

渡辺サユリ 鈴木祐子  
 木村布美子 煤澤正範  
 浅井寛子 新井雅則  
 宮城ミユキ 橋本由美子  
 内田雅文 鯨井昭二  
 齊藤千穂 山下恵  
 田中紀江 飯塚竜也  
 江原匡尚 福田康史  
 小嶋麻美 坂本弘道  
 鳥羽沙織 権田節子  
 山崎勝 新悦郎  
 泉慶一 戸井田幸枝  
 細井美由起 新井隆浩  
 福島君江 浅見洋子  
 橋本小百合 松本康男  
 田沼大輔 里見圭司  
 加藤広行 土田友紀  
 大崎廣木 中山富美子  
 持田和樹 齊藤恵  
 藤野操 笠原和夫  
 茂呂敏行 佐藤淳  
 東利子 角田海草店

いつも応援いただき  
 ありがとうございます。

(年額) 一口：千円から  
 ※各施設にて随時受付。  
 ご賛同いただけます方は、  
 何卒よろしくご願ひ申し上げます。

### スタッフ大募集

社会福祉法人 埼玉のぞみの園

事務員 ←日商簿記2級程度。経験者優遇。(勤務地：深谷市本田)  
 グループホーム世話人 ←未経験者歓迎。(勤務地：籠原駅徒歩15分)  
 ○時給…965円～(一律手当含む)  
 ○時間&曜日…応相談可。

【法人本部連絡先】 〒369-1105 埼玉県深谷市本田3343 (電話)048-594-6511 (FAX)048-594-6512  
 (HP)http://nozominosono.jp 埼玉のぞみの園で検索を！各事業所のブログご覧になって下さい！！



# 「架ける」によせて 理事長 山崎勝

日頃より埼玉のぞみの園の運営にご理解ご協力を賜りまして、ありがとうございます。皆様の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて平成29年度は私達、社会福祉法人にとりまして大きな変革の年でした。「50年に一度の改正」とされた社会福祉法の大規模な改正を中心として、その付帯法が大きく変わり、運営形態も変革が求められました。当法人においてもこれを受け理事・評議員等、新体制で出発することになりましたが、経営の責任というものの重さをひしひしと感じる昨今です。

これ等を前提として私達は最優先課題として以下のことについて鋭意努力していかねばならないと考えます。

## 平成30年度にやるべきこと

平成29年の年明けとともに幹部職員に今後の社会福祉法人あるいは、本法の5年後、10年後の歩むべき方向を検討して欲しいと「ウェルフェア30プラン」と題した諮問機関を設置し、1年間の検討会を通して、新春講演会において提言を打ち出してもらいました。

大切なことは将来の展望を自分たちで考え実践していったらいいとの願いからです。

この提言をもとに法人のスケジュールが立案されていくのではないかと考えます。

そして親亡き後の対策として、平成25年から検討してまいりました新入所施設建設運動について、30年から着工するという理事会の決定に基づき、職員配置・運営形態・備品等の選定など諸々の準備が必要となります。

この施設は知的障害者を中心とした30名の合計40名の施設として建設します。更に基幹相談支援センターを併設し、地域の相談支援事業所等の連携や調整を行っていく場と考えています。今後障害者の高齢化や重度化「親亡き後」を見据え、障害者の生活を地域全体で支える体制作りのために、福祉関係との強い連携を視野に入れた事業所が必要ではないかと考えます。

この様な流れから、埼玉のぞみの園の組織の改革を予定しており、それに伴う人事・給与・設備積立金等、関連規程も改定していくことにします。

## 国の動き

一方、国は報酬単価・加算関連の見直しの中、通所加算や目標工賃達成加算・食事提供体制加算の在り方についての変更を出してきており、今後の成り行きについて心配をしております。

地域移行の推進として、グループホームは重度の方でも入居できるよう人員配置見直しを考えられたり、介護保険との連携による「共生型」

という障害福祉の活用が図られたりと現実的な策が練られている反面、では職員の確保はできるのか？通所施設は資金的に成り立っていないか？通所施設は危険性もあつたりと、まさに羊羹の切り分け状態という感じがするのです。

## 架けるという事

そのような状況から、今年も財政的に、過去になく非常に厳しい予算となることを予測されると共に、これが将来の試金石となると考えております。

今求められるのは、法人力の活用だと考えます。各施設・事業所が調整し連携し合う。持っている力を集結する。ちよど島と島をつなぐ橋のように、私たちの持っているものを繋ぎ合わせる。より大きな力になると思うのです。お互いが協力し合い、1つのことを2にも3にもすること、これこそ今後の埼玉のぞみの園に大切なことだと思っております。

福祉は人なりと言いますが、この難局を職員・利用者・ご家族・地域の皆様方等の協力により乗り切りたいと望むとともに、地域の付託にこたえる法人として更なる良質なサービスを提供できるように成長し続ける法人でありたいと願います。



山崎理事長 (H29.12.16撮影)

## 埼玉のぞみの園職員の健康調査

職員148名を対象に、健康に関するアンケートを実施したところ(回収率72%)、約5割の職員が「自分を健康と感じている」という結果がでました。しかし実際の健康診断結果をみると、何ら問題のない健康な職員は約1割。残りは『経過観察』または『要治療』等、生活改善を必要とする内容でした。血糖値・コレステロール値・血圧が基準値でなくても「自覚症状が無いから大丈夫！」と日常過ごしてしまうのが実態のようです。これが心臓病・脳卒中等の生活習慣病発症の要因となります。

面談を行った職員の中には、すぐに食・運動改善をはじめた人もいます。長年の生活習慣を変えることは難しいもので、若い世代からの意識改革・行動変容が重要な課題です。30年度からは、法人事業計画に健康改善に関する取組みを継続的に実施する内容が盛り込まれました。各年齢層の職員が健康で安定的に従事でき、より良いサービスを提供することが、福祉施設の課題と考えます。(春日園 新看護職員)

## 29年度ハワイ旅行記 by埼玉のぞみの園ツアーズ



### 3月10日～15日

法人初の試みとなる法人内施設合同ハワイ4泊6日旅行を利用者11名・保護者7名・職員5名の総勢23名で実施しました。

今回の旅行では、想像以上に英語を話す機会があり、皆さん積極的に国際交流を楽しんでいました。また、普段は違う施設で顔を合わせる事の少ない利用者・家族・職員も、言葉の通じない環境だったこともあり、自然と協力助けあいながら旅行を楽しむことができました。施設の枠を飛び越え、法人一丸となることのできた良い機会だったと思います。

(深谷たんぼば持田)

### 1日目：ホノルル市内観光

車椅子の方は海に足をつけて渚でゆったりつもりが：大波がきて服が濡れてしまい「もう濡れたから海に入っちゃおう」と大はしゃぎ。夕方には、ホノルルフェスティバルを鑑賞、夜にはビーチで日本から招かれた長岡火花を眺め、思い出深い一日になりました。

### 2日目：全員でワイキキビーチへ

日本では味わえない絶叫系アトラクションを楽しんだり、イルカと直接ふれ合うこともできました。

### 3日目：①プール遊びコース

②イルカコース

英語で買い物をしたり、交流を楽しめ自信ができました。また是非行きたい！

### 4日目：①ホエールウォッチングコース

夕食では、3月生まれの方へサプライズで誕生日を計画。人生初の海外パーティーに感動された様子で、企画した職員も面白い泣きをしてしまったという一幕がありました。

## ご利用者の感想です

- 英語で買い物したり、交流を楽しめ自信ができました。また是非行きたい！
- サプライズのパーティーを楽しみました。
- 38年ぶりのハワイで、前回はまだお腹の中だった。ハワイが名になったそうで家族で楽しめた。
- イルカと触れ合えてとても楽しかった。
- 綺麗な海で皆と楽しく泳げたことが、良い思い出になった。
- 働いた工賃で、買い物をする存分楽しめた。
- 職員に手伝わってもらい、念願の海で泳ぐことができた。ありがとう。



## 保護者からのお便りを ご紹介します

今回の旅行は、保護者からのご声援のおかげで実現することができました。保護者の方々のサポートのおかげで、職員も安心して旅行を楽しむことができました。保護者の方々のご声援、本当にありがとうございました。また、保護者の方々のご声援のおかげで、職員も安心して旅行を楽しむことができました。保護者の方々のご声援、本当にありがとうございました。